

## 第299回 日本体育大学長距離競技会

### 【出場結果】

実施日 : 10月1日(土) 10000m 10月2日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 加藤 平 親崎 達朗 田中 龍誠 坪井 響己

出場種目・出場者・リザルト

氏名	田中	坪井	親崎	坪井	加藤
種目	10000m	10000m	10000m	5000m	5000m
組	4組目	6組目	6組目	15組目	16組目
タイム	29'52"96 (入社後ベスト)	30'32"80	29'49"83	14'13"47 (入社後ベスト)	14'08"37 (自己ベスト)
順位	6/41	32/34	24/34	6/32	3/28

### 【レポート】

11月3日に開催される東日本実業団駅伝競走大会まで残り1ヶ月となり、選手達も駅伝本番を想定してのコンディション作りが求められる時期になりました。

10月1~2日に開催された日本体育大学長距離競技会には4名の選手が出場し、駅伝本番を見据える中で、結果に拘りレースに臨みました。

初日に行われた10000m4組目には田中が出場し、目標を29分台に定め、序盤から1km3分のペースをしっかりと刻みながらレースを進めました。



持ち前の冷静な走りでレースを進める田中

中盤にかけて先頭集団がペースアップする展開においても、田中は 1km3 分のペースを貫き、集団から大きく遅れる場面もありましたが、レース終盤にかけても粘り強くペースを維持し続けると、前方から脱落してくる選手を次々と抜き取り、ラスト 1 周をギアチェンジしてゴールに飛び込み、29 分 52 秒台の入社後ベスト記録をマークしました。

トラックレースでも自身のペースを確実に刻むことが出来たのは、駅伝にむけて大きなプラス材料となりました。



見事入社後ベスト&セカンドベストをマークした田中

続いて 10000m6 組目には親崎と坪井が出場し、親崎は 29 分台、坪井は 28 分台を目標にレースに臨みました。2 人とも序盤から先頭集団の刻むハイペースにしっかりと食らいつき、記録にも期待が高まる中でレースが進みました。



序盤は先頭集団のペースにしっかりと対応する坪井と親崎

坪井が 5000m を 14 分 34 秒台、親崎が 14 分 42 秒台で通過しましたが、坪井は脇腹の痛みを伴うアクシデントが生じて大きくペースを落とす展開となり、後半も粘り通した親崎が 29 分 49 秒台でゴール、坪井は最後まで脇腹の痛みを我慢しながら 30 分 32 秒台でのゴールとなりました。

親崎は駅伝に向け、コンディションを上げてきていることを確認出来ましたが、坪井は 28 分台の記録を狙っていただけに悔しい結果となりました。



脇腹の痛みに見舞われ大きくペースを落とす坪井



中盤以降も粘りの走りで 29 分台をマークした親崎

翌日の 5000m には 10000m で悔しい走りとなった坪井と、故障の影響もあり約 1 年振りのトラックレースとなった加藤が出場し、まず 15 組目に出場した坪井は前日の疲れもみせず序盤から積極的に先頭集団に付いていくと、3000m を 8 分 30 秒台で通過し、以降も果敢に集団を引っ張り、14 分 13 秒台の入社後ベスト記録でのゴールとなりました。



連戦となる 5000m で入社後ベスト&セカンドベストをマークした坪井

16 組目に出場した加藤は昨年 12 月に出場した福岡国際マラソン以降、度重なる故障に見舞われ、今季のシーズンインが遅れていましたが、8 月には月間 1000 km を超える走り込みで力を蓄えて本レースに臨みました。

序盤から中盤にかけて先頭集団の中でレースを進め、3000m を 8 分 36 秒台で余裕を持って通過すると、一気にペースを切り替えて先頭を引っ張りました。



後半の勝負処で果敢に先頭集団を引っ張る加藤

4000m 以降、後方に位置していた選手にスパートされましたが、ラスト一周の鐘が鳴ると得意のラストスパートが炸裂し、14分8秒台の自己ベスト記録でゴールしました。



切れ味の鋭いラストスパートで見事に自己ベストを更新した加藤

## 【総 評】

今回のレースは、出場した4名の選手がそれぞれレース前に掲げた目標をしっかりとクリア出来ており、1ヵ月後に迫った東日本実業団駅伝に向けチームに勢いをつける結果となりました。

特に暫くレースから遠のいていた加藤の復帰は、チームとしてもプラス材料であり、ここから更にコンディションを上げて駅伝本番を迎えて欲しいと思います。

駅伝本番までに、もう一段チーム力の強化を図り、駅伝当日は選手達が自信を持ってレースに臨めるよう、体調管理の徹底を第一に日々のトレーニングに邁進して参ります。

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上